

最近ご縁があって東京ディズニーランドへ行ってきました。某ねずみキャラクターとの触れ合いやアトラクション等、とても楽しかったのですが、他にも印象に残ったことがありました。それは何かというと…ランドの中ではどこで過ごしていても、それぞれの場所で違った音楽が流れていることです。ディズニーならではのワクワクドキドキする音楽なんですが、常に音楽を感じていただけることがとても心地よかったのを覚えています。

利用者の方にも音楽が好きな方がたくさんいます。最近のjpopを聴いて飲む方、言葉はなくてもhealing, hawaiian, jazzなどの音楽が流れていると自然と表情が和らぎ、穏やかに過ごしている方など、皆さんそれぞれ音楽が好きなんだと感じることが多いです。日々のコミュニケーションの中から、利用者の方がどんな音楽が好きなのかを見つけ、共有することが密かな私の楽しみです。

弓場元 健太

現場スタッフの声（仕事に対する思いや目標）

板屋学園に就職して10ヶ月になります。仕事は新しい仕事・対応を覚えて、慣れた頃にまた新しい仕事・対応を覚えての繰り返しでいつまでも大変なように感じます。特に利用者さんの対応はどういう対応が一番良いのかいつも悩みます。そんな時に先輩職員さんからアドバイスを頂いたり励まされたりして過ごしています。板屋学園にいらっしゃる人は、利用者さんも含め、素敵な方ばかりで毎日楽しく仕事をさせていただいています。時々大失敗することがありますが、その時に利用者さんからも励まされて元気になりました。これからも、いろいろ学びながら、楽しみながら、あまり失敗せずに板屋学園で仕事をしていきたいと思えます。

飯伏 華奈絵



私がこの仕事をしていて楽しいと感じるのは、利用者の方の笑顔が見ることができたときです。板屋学園は利用者の方々が24時間生活している場所であり、利用者の方のいろいろな一面を見ることが出来ます。

朝起きてから、作業場面で、余暇の場面で、夜寝る前……。みんなそれぞれの場面でいろいろな表情を見せてくれます。もちろん楽しい関わりばかりではないこともありますが、利用者の方の笑顔を見ることができたときはこの仕事をしていてよかったと感じます。

みんなで楽しくおしゃべりをしているとき、レストランで外食をしたとき、グループで一緒にお出かけをしたとき……。これからもみんなが「楽しいな」と感じる時間を一緒に共有していきたいと思えます。

城島 梨花

「ときめきウェブ福岡」の紹介

みなさん「ときめきウェブ福岡」というホームページサイトをご存じでしょうか？このサイトは福岡市内にある障がいを持たれている方が利用する福祉事業所の商品紹介、活動紹介等が行われています。もちろん板屋学園の紹介もあります。ブログも随時更新していますので覗いてみてください！！板屋学園のホームページのトップにも「ブログ」という項目を入れていますのでクリックすれば簡単にときめきウェブ福岡のサイトに入ることが出来ます。さまざまな事業所の紹介がありますが、必ず板屋学園の紹介もチェックしてくださいね。



ドリーム板屋編集書記

皆さんこんにちは、板屋学園広報委員会です。いつもご愛読頂きありがとうございます。年間を通して板屋学園で行なわれている行事や日々の利用者様の様子をお伝えできればと思い、3カ月に1回発行させていただいております。……が！！「ドリーム板屋に記事を書きたい」、その他学園について知りたい事など、熱い思いがございましたらぜひお聞かせ下さい。

皆さんと一緒に良いドリーム板屋を制作できればと思いますのでどしどしご意見、ご感想お待ちしております！！ それでは、また来年度もよろしくお願ひ致します。
広報委員会（永井、柘田、浦野、古屋）

ドリームいたや

第106号

2012年2月20日発行

社会福祉法人共栄福祉会
板屋学園
〒811-1113
福岡市早良区板屋359番地の1
TEL 092-804-7677
FAX 092-804-7678

板屋学園HPアドレス
<http://www.kyoei-f.or.jp>

目次

- 1 最高な人々が集うせふりの杜の板屋学園2012
（新年のわたしの約束）
施設長 椎葉 亮
 - 2 ☆楽しかったクリスマス会☆
～Merry Christmas～
村上 耕平
2012年の抱負（利用者・職員）
 - 3 初詣に行ってきました
平川 修三
保護者・職員研修会を開催しました
板屋学園保護者会 天野 康生
研修会の感想
古屋 新悟・柘田 農
苦情受付報告
 - 4 職員コラム「No Music No Life」
弓場元 健太
現場スタッフの声
飯伏 華奈絵
城島 梨花
ときめきウェブの紹介
永井 和明
- ドリーム板屋編集書記



最高な人々が集うせふりの杜の板屋学園 2012（新年のわたしの約束） 板屋学園 施設長 椎葉 亮

<自分との約束>

とにかく明るく生きる
部下をとことん信じる
矢面に立って盾になる
とことん向かい合う

自分から挨拶する
素直に話を聞く
自分の幸せを中心に
変化を恐れず受け入れる

<部下への約束>

小さな親切や思いやりを評価する
ミスの後の対応に意識を向ける
プロ意識を持たせる
仕事を貫徹させる

ありがとうを頻りに言う
必ず期限を与える
結果が出なくても信じる
ありのままの自分に気付かせる

「参考図書 和田裕美著 誰でもリーダーになれる3つの約束」



上記のことを新年にあたり今年の約束として、板屋学園運営を行っていきます。
ぜひ、皆さまのご協力・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

新年にあたりご挨拶いたします。



☆楽しかったクリスマス会☆ ～ Merry Christmas ～

12月23日に粉雪が舞う中、学園内食堂においてクリスマス会を開きました。当日は利用者の皆さん、保護者の方々、学園職員の総勢90名を越す大人数の参加で楽しい一時を過ごしました。プログラムとして椎葉園長からの挨拶に始まり、クリスマス特別ランチを皆で味わい、いつもとは一味違った食事に皆さん大満足！！食後は各グループからクリスマス会に向けて出し物を準備、披露して頂きました。

トップバッターはこのグループで「かさ地蔵」、このはの利用者皆で作った手作り衣装を身にまとい心温まる劇を見せてくれました。2番目のファームグループからは、利用者さん全員でクリスマスソングを歌いました。クローバグループからは職員が3グループに分かれて出し物を披露し、一発芸やものまね、人間紙相撲など終始笑いが絶えない楽しい一



サンタさんからのプレゼント何かなあ～



出し物のかさ地蔵は着物を着て、上手に演じることができました

時となりました。出し物が終了したところで、サンタクロースが登場し、一人ひとりに手渡しでクリスマスプレゼントが配られました。帽子やセーター、玩具やお菓子等欲しかったプレゼントを開いて手に取る利用者の方々の満足そうな表情が印象的でした。楽しい時間はあっという間に過ぎました。数日過ぎた後も数名の利用者の方から「クリスマス会楽しかったね」と感想を頂きました。今後またクリスマス会を開催する際には利用者の方が楽しめる企画を提供していきたいと考えております。来訪して下さいました方々、ありがとうございました。

村上 耕平



2012年の抱負（利用者・職員ver）

（利用者 SAさん）
たくさん運動して痩せたいです。

（職員 梅崎看護師）
人の健康管理のことはよく言いますが、その前に自分の体調管理を徹底し健康に務めたいですね。

（職員 松本看護師）
・ビールを減らしてもっと健康になりたいです♪

（利用者 IHさん）
掃除を頑張って、外出に行くぞ～！！

（利用者 U.Sさん）
じゃらん（旅雑誌）に載っている旅館に泊まりたい！！

（職員 萩尾職員）
今現在「このは」を中心に支援をさせていただいておりますが、1月より医務から支援部に移り、本格的に利用者の方とかかわらせていただくことになりました。今年の抱負は、利用者の方と共に楽しく作業ができるようにがんばろうと思っています。

みなさん！！目標を達成できるよう頑張りましょうねっ！！

初詣に行ってきました！！

1月2日に男性利用者3名、女性利用者3名、職員3名の9名で新年の挨拶として、初詣に行ってきました。当初、予定では飯盛神社に行くつもりでしたが、飯盛神社の駐車場に到着するとびっくり！！たくさんの車が並んでおりいつ駐車場に入れるか分からない状態でした。急遽近所の三社詣りに変更することにしました。三社詣りに行った後、外食をしてお腹いっぱい食べてきました。

当初の予定の飯盛神社から三社詣りに変更にはなりましたが、皆さん終始楽しそうな様子でした。

平川 修三



何を願いましたか～??

保護者・職員研修会を開催しました（11月21日）



板屋学園保護者と職員合同の研修会は今回で3回目となりました。3年前、西南大学野口先生の所に「研修会をしたいので支援について何か話をしてもらえないか？」と相談に行ったところ、「事例発表会という形にした方が後に続くので良いと思う」との助言を頂き、その結果今まで3回にわたり6人の利用



中央公民館での研修会の様子です。たくさんの方に来て頂きました。

者さんの支援結果報告ができています。いずれの発表も個別支援計画に基づきハッキリ、分かりやすいデータでの報告だったと思います。また発表があった利用者さんだけではなく、全利用者さんの個別支援も同時に進捗しています。

一人ひとりの利用者さんが今より少しだけでも充実した生活が送れるよう職員さんとの共通の目的意識を持ち勉強していこうではありませんか。何歳になっても遅すぎることは絶対ないと思います。次回の事例発表はあなたのお子さんかもしれません。

板屋学園保護者会 天野 康生

今回の保護者・職員研修会では、板屋学園の利用者2名の方の事例を発表しました。今回発表した古屋・柘田職員の感想です。

○古屋職員の感想

保護者との勉強会での発表は、まだ2年目程度ですが私にとってとてもよい機会だったと思います。実際、障がいのある方の支援をする仕事は、生きてきて初めての事です。聴衆の面前での話しは初めてではないですが、冒頭では緊張が隠しきれず「うわぁ、自分同じこと何回も言ってるわ～」と思いながら、自分の中のバロメーターが上がっていくのを感じました。だんだんと緊張もとれ自分のペースで話すことができ、終わった頃には達成感を感じ取ることができいい気分でした。支援ももちろんそうですが、人のライフステージによって個々様々な環境などあるとは思いますが、私の考えは「人間は人生の中でいかに生きるか」「人間とはなにか」ということについて色々な視点から追及し自己研鑽していきたいと思っています。

○柘田職員の感想

板屋学園保護者会が主催している、板屋学園利用者の事例発表会（保護者勉強会）が行われました。私が担当させて頂いているK.Tさんの事例（指示待ちの軽減について）の発表を行いました。発表する前はかなり緊張しており、うまく話せるかなあ～と心配していましたが、いざ発表が始まると段々と緊張が解けていき、自分が発表会で言いたかった事全てを話すことができました。保護者や法人内の別事業所の職員も参加しており、発表を真剣な面持ちで聞かれていました。発表が終わった後に他事業所の職員からも、「同じ法人で働く仲間として、かなり刺激を受ける場面があった」と言われていたので、このような機会を今後増やしていき、各事業所・法人間で情報交換ができればと思います。

苦情受付報告

平成23年11月～平成24年1月まで苦情はありませんでした。